



和紙で彩る優しい趣 ちぎり絵の会

「ちぎり絵の会」は、平成18年に御笠コミュニティセンターの主催講座として活動が始まりました。1年間の講座が終わった後、講師の星原ハル子先生に指導の継続を依頼し、サークルとしての活動を続けています。月に一度の活動と自宅とで制作した作品はコミュニティの文化祭などで展示。文化祭では初心者の人と交流しながら絵ハガキを作る体験会なども行います。

ちぎり絵は、さまざまな種類の和紙を使い、ちぎって、貼り重ねます。和紙特有の毛羽が絵に優しい趣を生むのが特徴。ちぎった和紙に筆でのりを伸ばし、ピンセットを使いながら慎重に台紙に貼り付けます。のりで濡れた和紙が乾いた時の色合いがイメージと違えば、はがして、また、ちぎって、貼り重ねて。完成まで数カ月かかる作品も。皆さんは「一人だけじゃ続けられない。ここに来るとやる気が出るんですよ。みんなで笑いながらするのが楽しいんです」と話します。

星原先生が「和紙を染める作業も自分たちでやってみようか」と言うと「やりたい!」「楽しそうですね!」と、新しい挑戦にわくわくする皆さん。奥の深いちぎり絵の世界は、作品だけでなく、作り手の皆さんの心も彩ります。

ちぎりの絵の会

- 活動日時・場所 毎月第4木曜日(14時~16時)、御笠コミュニティセンター
- 連絡先 櫻木 ☎(925)8343



掲載希望を募集します

このコーナーへ掲載を希望するクラブやサークルを募集します。対象は、筑紫野市民を中心に市内で活動している社会教育団体で、営利目的・会費の一部が主催者や上部団体の収入になるものを除きます。詳しくは問い合わせください。

● 問い合わせ先 秘書広報課広報広聴担当